

2026年2月19日

内閣官房 国土強靱化推進会議 第18回 御中



Development Bank of Japan Inc.

Applying Financial Expertise
to Design the Future

話題提供：

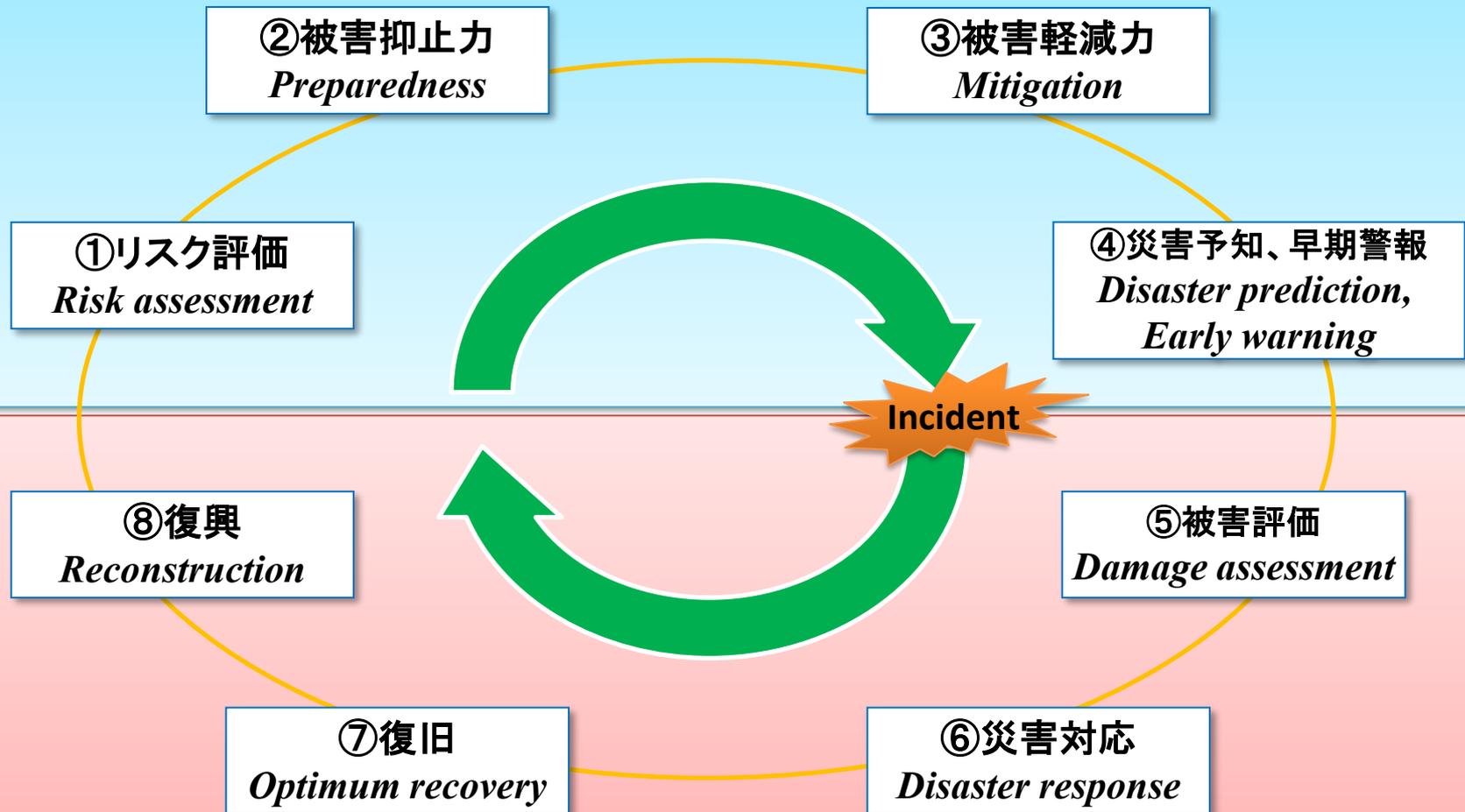
防災分野へのイノベーション投資と 日本が主導する国際ルール形成について

株式会社日本政策投資銀行
蛭間 芳樹

内容：

- 1) 業務紹介：BCM格付、GRIT経営
- 2) 防災×イノベーション投資
- 3) リスクファイナンスISO

I : リスク・マネジメント *Risk Management*



II : クライシス・マネジメント *Crisis Management*

I : リスク・マネジメント *Risk Management*



事前投資 Ex ante Investment

- ◆ 防災・BCMの可視化、価値化
- ◆ 事前投資促進
- ◆ 防災ビジネスの創造



Incident

- ◆ 復旧支援
- ◆ 復興・成長ファンド
(Build Back Better)

◆ 危機対応業務

金融危機、激甚災害、感染症など主務大臣(財務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣)による危機認定がなされた場合

II : クライシス・マネジメント *Crisis Management*



責任ある金融

～企業の見えざる資産を魅せる企業価値へと繋げ、豊かな未来を共創します～

DBJ評価認証型融資

環境格付
(環境リスク)



BCM格付
(事業継続リスク)

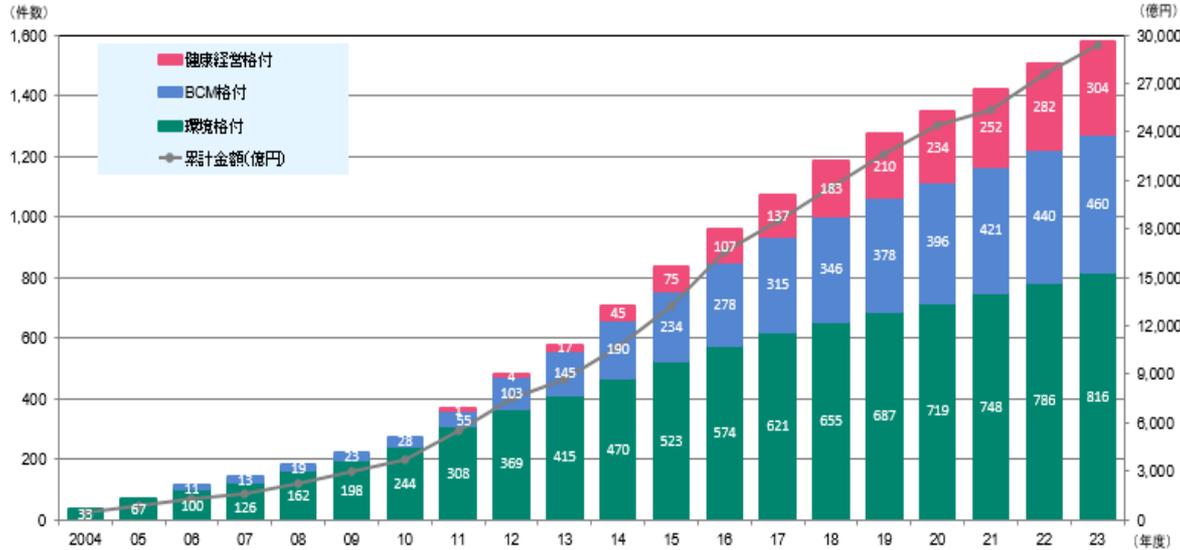


健康経営格付
(人的生産性リスク)



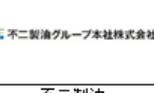
社会課題に対する金融機関の役割と責任 : 金融力 = “目利き力” への挑戦 # 収益と公益の両立

DBJサステナビリティ評価認証融資の実績



ご取得企業 (一例)

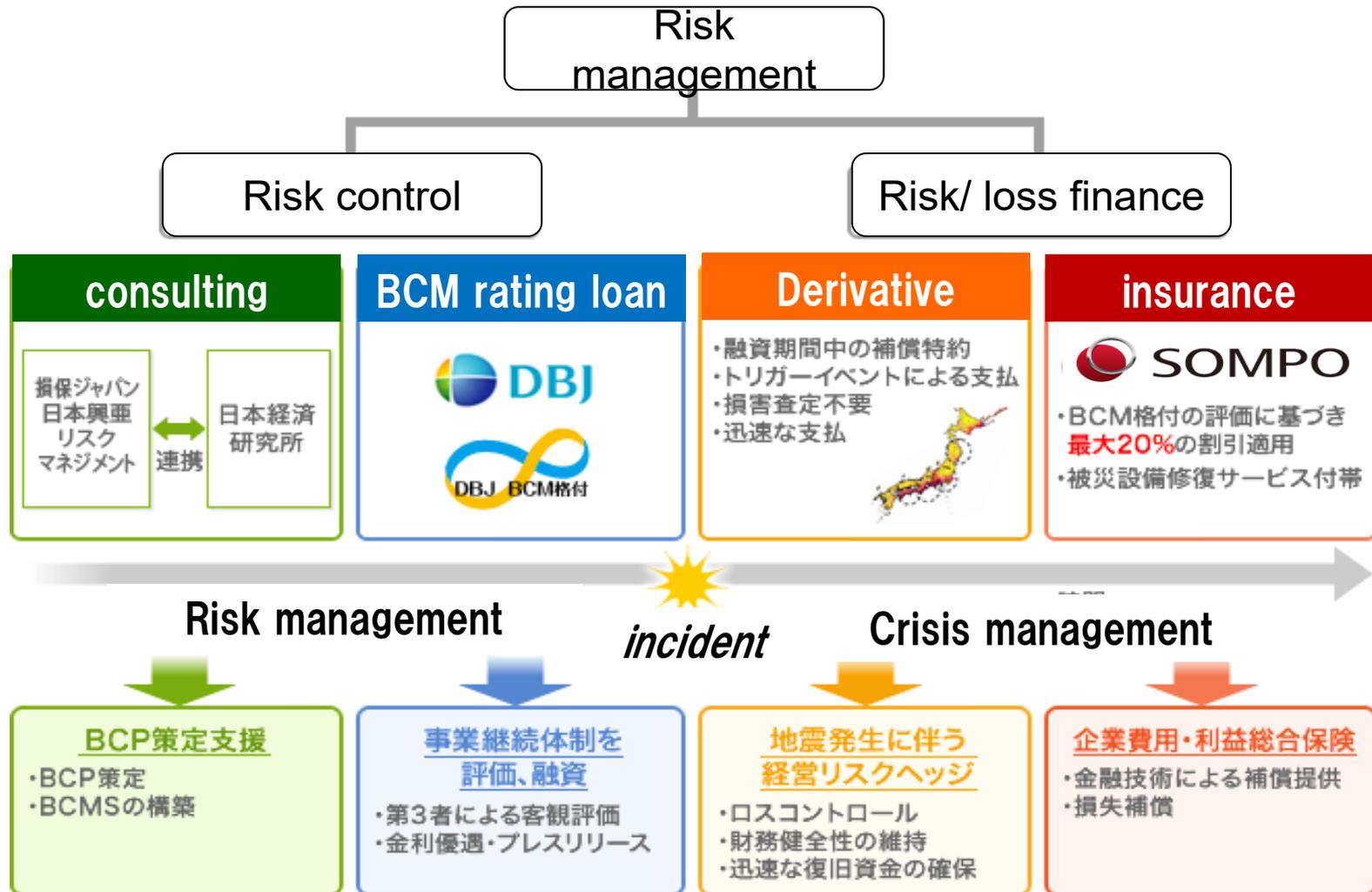


 セイコーエプソン様	 出光興産 様	 花王 様
 積水化学工業 様	 東洋合成工業 様	 オートバックスセブン 様
 東京ガス 様	 近鉄グループ ホールディングス 様	 カゴメ 様
 三菱ケミカルグループ株式会社 三菱ケミカル グループ 様	 白謙蒲鉾店 様	 トヨタ ファイナンス 様
 イオン 様	 日本自動車 ターミナル 様	 マルハニチロ 様
 不二製油グループ株式会社 不二製油 グループ本社 様	 鈴木 様	 第一工業製薬 様

実績 (2024.03末時点)	融資件数		融資金額
	2023FY	累計	累計
環境格付	30件	816件	1兆8,841億円
BCM格付	20件	460件	6,040億円
健康経営格付	22件	304件	4,460億円
合計	72件	1,580件	2兆9,341億円

金融 * 保険の協業によるリスクコントロール __ 損保Jグループ殿との連携事例

Supported enterprise risk management from finance and insurance

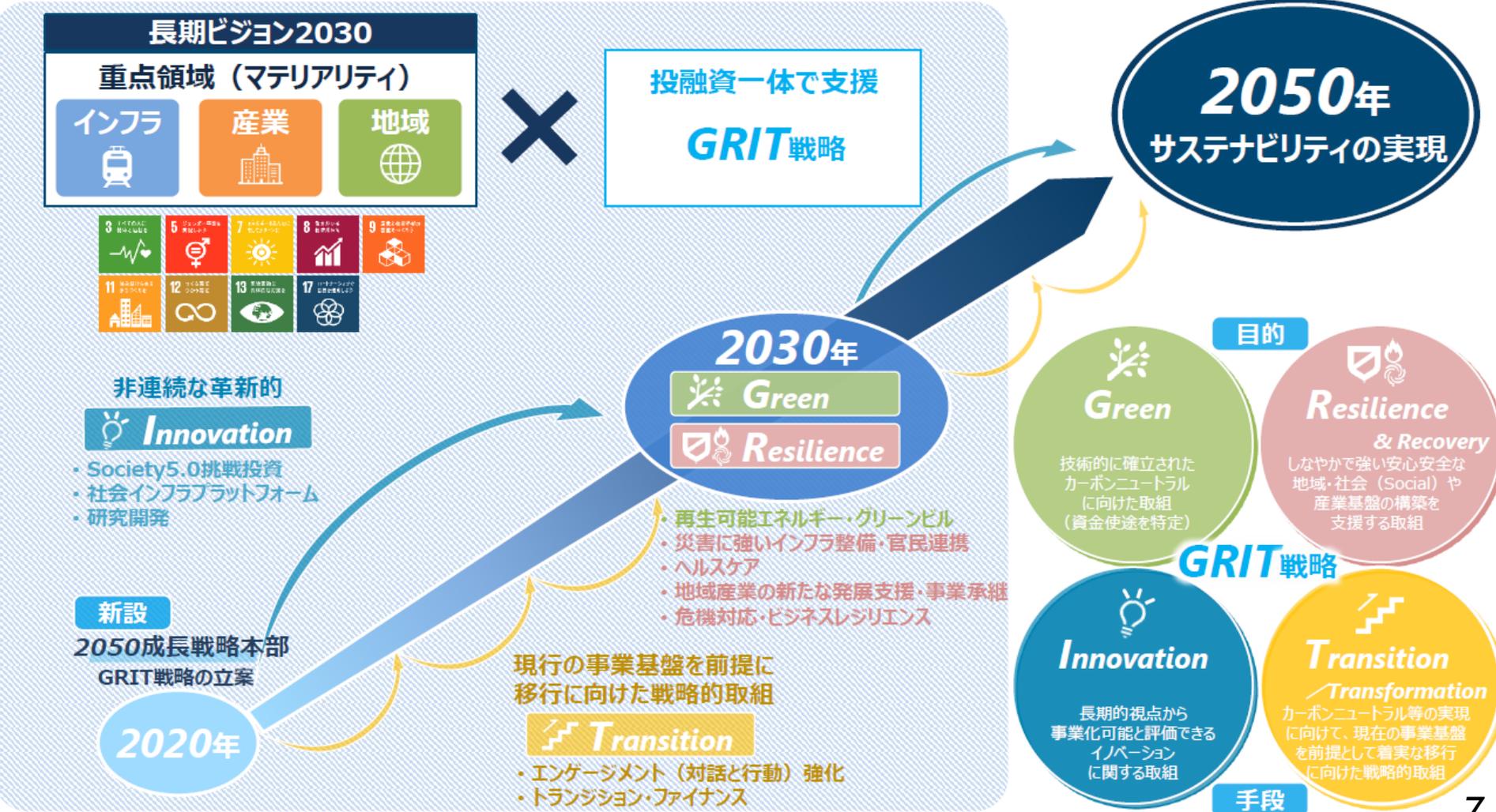


DBJ紹介①： 2030長期ビジョン、中期経営計画

GRIT戦略

持続的成長に向けた“DBJ GRIT戦略”

■ 持続可能な社会の実現に向け、民間金融機関等と連携し目線を維持しつつ、投融資一体のビジネスモデルを活かし、お客様起点でGreen, Resilience & Recovery, Innovation, Transition/Transformationを投融資一体で推進します (DBJ「GRIT戦略」)



DBJ紹介②： 2030長期ビジョン、中期経営計画

(参考) 第5次中期経営計画における主な施策内容

GRIT戦略

 **Green**
 **Resilience & Recovery**
 **Innovation**
 **Transition/Transformation**

産業をつなぐ

業種を超えた連携・再編への取組

- 持続可能な社会に向けた連携・再編の取組支援
- 産業横断の取組推進 (新素材、グリーン新技術)

新産業の芽の発掘・お客様のDX支援

- イノベーションの社会実装に向けた挑戦
- 社会インフラプラットフォームへのリスクマネー (水素、EV等)

大企業の未活用経営資源と成長産業の結節

- CVC等との連携を通じたリスクマネー供給
- 大企業の潜在リソースとベンチャー等の連携

世代をつなぐ

インフラ整備・再構築 ビジネスレジリエンス対応

- 持続可能な社会の実現に向けたインフラ整備
- 災害復旧や災害に備える官民連携の推進・危機対応

持続可能な社会に向け、お客様の非財務要素着目

- お客様のトランジションや非財務価値の見える化に向けたエンゲージメント (対話と行動)強化

サステナブル・ファイナンス 市場の活性化

- DBJの特色を活かしたESG金融の裾野拡大

地域をつなぐ

特色ある地域資源の維持と新たな魅力発掘

- コロナによる交流人口急減への対応
- ナレッジを活かし特色ある地域資源の発掘

変容する産業構造への対応

- ESG等の変化を踏まえた地域産業の新たな発展支援
- 事業承継支援や再生案件への取組

地域金融機関と協働した地域の基盤づくり

- 地域金融機関と連携・協働
- レジリエントな地域形成への官民連携推進 (PPP/PFI、SIB※)

DBJ GRIT戦略による投融資金額 (5年間累計概算)

5.5兆円 | (5次中計投融資総額13兆円)

Digital
変化に向き合う手段としてのデジタル化対応

デジタルを活用した組織・人材・働き方の活性化
DX化の投融資
DXで多様化するニーズへの対応 (アドバイザリー業務等)

金融デジタルイノベーション
業務改善

本日の発表 2点です

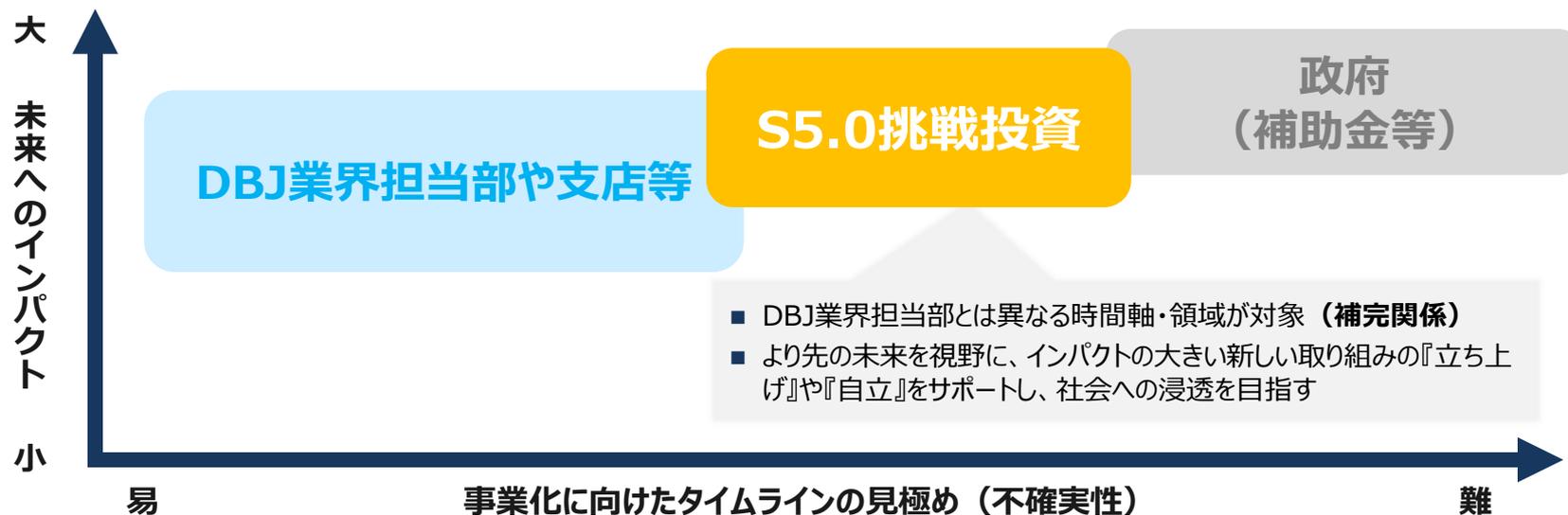
① 防災の産業化とイノベーション

② 国際ルール形成への挑戦

DBJイノベーション投資部

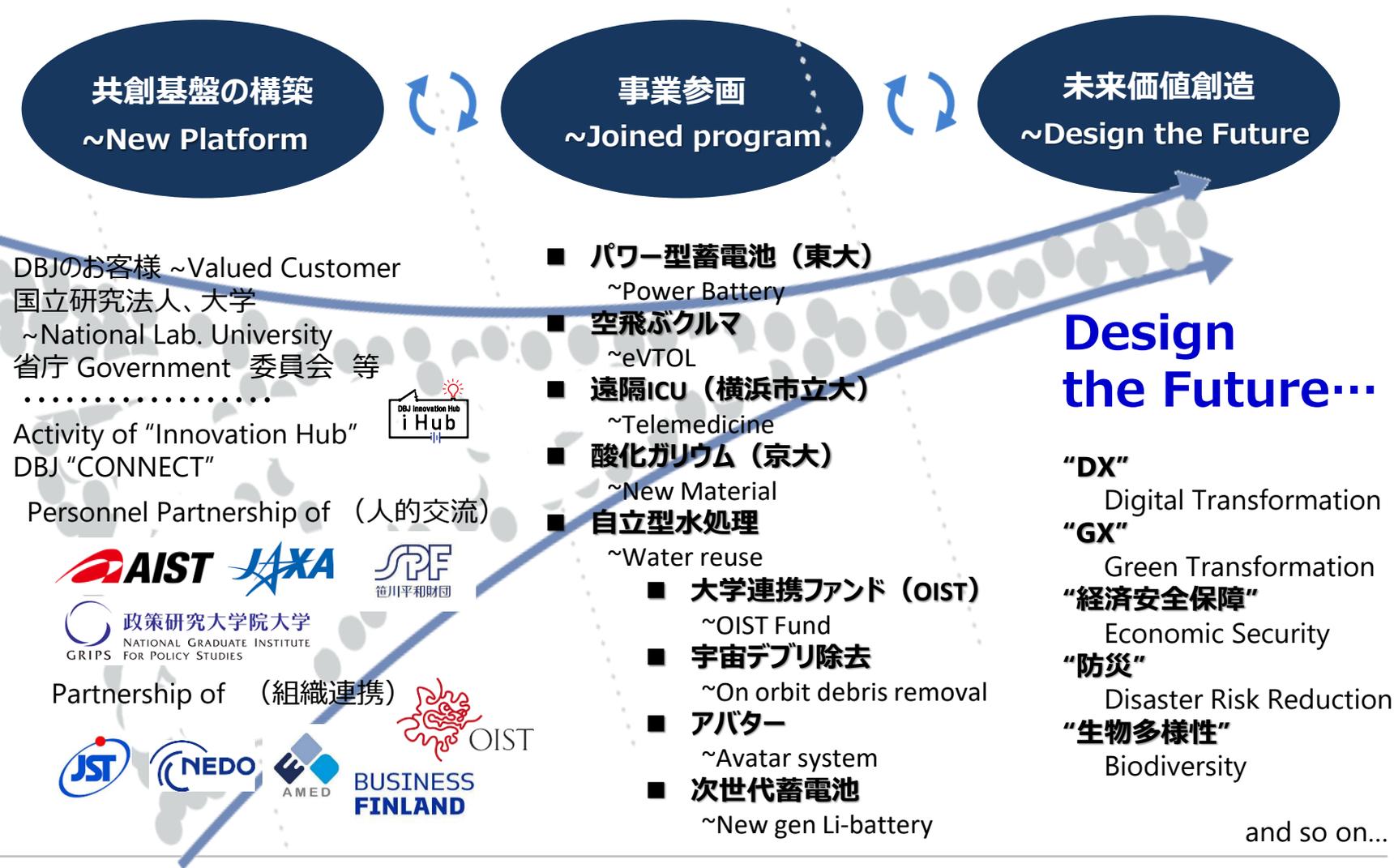
◆財政（公共）と金融（市場）の間をつなぐ“触媒”としての金融

Society5.0挑戦投資のターゲット領域



- ポイント① 志を持って未来を創造する：新結合・新たな価値（知恵、技術）の探索
- ポイント② 短期的な事業性/経済性よりも、長期的な社会変革（△）の大きさ
- ポイント③ DBJ職員の主体的な関与（経営参画、ハンズオン）：当事者になる

◆ 共創基盤の構築 = エコトーン (システムの多様性・持続性の根源領域)
 ◆ キーストーン (スタートアップ) 創出 = システム変革



共創基盤の構築
~New Platform

事業参画
~Joined program

未来価値創造
~Design the Future

DBJのお客様 ~Valued Customer
 国立研究法人、大学
 ~National Lab. University
 省庁 Government 委員会 等

 Activity of "Innovation Hub"
 DBJ "CONNECT"



Personnel Partnership of (人的交流)



Partnership of (組織連携)



- パワー型蓄電池 (東大)
~Power Battery
- 空飛ぶクルマ
~eVTOL
- 遠隔ICU (横浜市立大)
~Telemedicine
- 酸化ガリウム (京大)
~New Material
- 自立型水処理
~Water reuse

- 大学連携ファンド (OIST)
~OIST Fund
- 宇宙デブリ除去
~On orbit debris removal
- アバター
~Avatar system
- 次世代蓄電池
~New gen Li-battery

Design
the Future...

- "DX"
Digital Transformation
- "GX"
Green Transformation
- "経済安全保障"
Economic Security
- "防災"
Disaster Risk Reduction
- "生物多様性"
Biodiversity

and so on...

Society5.0挑戦投資の出資先 (一部)

Deeptech *デュアルユース* フェーズフリー等々 ただし投資は“手段”

● 取締役派遣

【蓄電池】
エクセルギー・パワー
システムズ



【空飛ぶクルマ】
SkyDrive



【遠隔医療】
CROSS SYNC



【大学ファンド】
OIST-Lifetime
Ventures Fund



【分散型水処理】
WOTA



【遠隔環境】
avatarin



【新型洋上風車】
アルバトロス・テクノロジー



【半導体新素材】
FLOSFIA



【3Dプリンタ】
3DEO Inc.



【次世代蓄電池】
TeraWatt
Technology Inc.



【衛星データ活用】
天地人



【拡張生態系】
SynecO



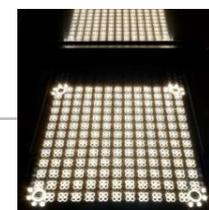
【量子コンピュータ】
Qolab



【先端技術】
ATAC



【複雑合金】
Alloyed



金属3Dプリンタ開発 3DEO Inc.

米国経済安全保障重要技術開発、CFIUS規制対応案件

2024年1月19日 下記リリース+日本経済新聞朝刊日米記事化

EPSON



News Release

2024年1月19日

株式会社日本政策投資銀行

セイコーエプソン株式会社

3DEO Inc. に対する出資について

～金属3Dプリンターを活用した製造業の革新を目指す～

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）とセイコーエプソン株式会社（本社：長野県諏訪市、代表取締役社長：小川恭範、以下「エプソン」という。）は、3DEO Inc.（本社：米国ロサンゼルス、CEO：Matt Petros、以下「3DEO」という。）に対して出資を実行しました。

3DEOは、独自開発した生産プロセス技術「Intelligent Layering®」を用いて小 / 中ロット領域での金属部品の設計・製造の一貫サービスを有するスタートアップです。とくに航空・宇宙、医療・ヘルスケア、半導体の分野でのシェア獲得を目指しています。

海外スタートアップに対する：

①初の直接出資

・海外先端技術を視野に入れた Society5.0投資での挑戦

②初のハンズオン

・資本政策に基づく各種リストラ
・エプソンとそれぞれ取締役会オブザーバー権取得し、当社の日米市場シェア拡大等を支援

③CFIUS手続き完了

・米国の対外投資規制の実務から垣間見える米国の本音

金属 3Dのポイント：

◆ 製造“プロセス”のイノベーション

◆ 新製品を生み出す“プロダクト”のイノベーション

INDUSTRIES SERVED



Medical (17-4PH)



Aerospace (17-4PH/INC625*)

*R&D in progress to deploy INC625



Semiconductor (17-4PH/Copper)



Consumer (17-4PH/316L)



Industrial (17-4PH/Copper)



* 民の事業継続力強化(BCP,BCM)とは、災害対応(急性リスク)だけではない

* DBJ “GRIT”投資は包括アプローチ：System’s Transformation

本日の発表 2点です

① 防災の産業化とイノベーション

温故「創」新

- ◆ “財政と金融”をつなぐ “触媒”としての金融
- ◆ “防災と産業”をつなぐ
- ◆ “社会経済レジリエンス”に必要なイノベーション

② 国際ルール形成への挑戦

本日の発表 2点です

① 防災の産業化とイノベーション

温故「創」新

- ◆ “新旧”をつなぐ
- ◆ “財政と金融”をつなぐ
- ◆ “防災と産業”をつなぐ

② 国際ルール形成への挑戦

前提： 国連仙台防災枠組の“優先行動”において事前投資の重要性を国際合意済

「仙台防災枠組2015-2030」期待される成果

人命・暮らし・健康と、個人・企業・コミュニティ・国の経済的・物理的・社会的・文化的・環境的資産に対する災害リスク及び損失を大幅に削減する

目標及び7つのグローバルターゲット

- 「ハザードへの暴露（exposure）及び脆弱性を予防・削減し、応急対応及び復旧への備え強化し、強靱性を強化する
- 統合されかつ包摂的な、経済、ハード及びソフト、法律、社会、健康、文化、教育、環境、技術、政治及び制度的手段の実施を通じ、新たな災害リスクを予防し、既存の災害リスクを減少させる

●7つのグローバルターゲット ①死亡者数、②被災者数、③経済的損失、④重要インフラの損害、⑤防災戦略採用国数、⑥国際協力、⑦早期警戒及び災害リスク情報へのアクセス

優先行動

①災害リスクの理解

過去の災害や、防災に関する知識・教訓等を学び、理解する

②災害リスク管理のための災害リスクガバナンスの強化

行政と地域がそれぞれの役割を理解し、計画とスケジュールを正しく管理する、あらゆるステークホルダーが防災に参加する

③レジリエンスのための災害リスク軽減への投資

重要施設の耐震化や防潮堤・避難施設の建設といったハード対策と、防災計画の策定や防災教育といったソフト対策への事前投資を公的・民間投資を通して実施し、潜在的なリスク要因に対処する

④効果的な対応のための災害準備の強化と回復・復旧・復興に向けた「より良い復興」

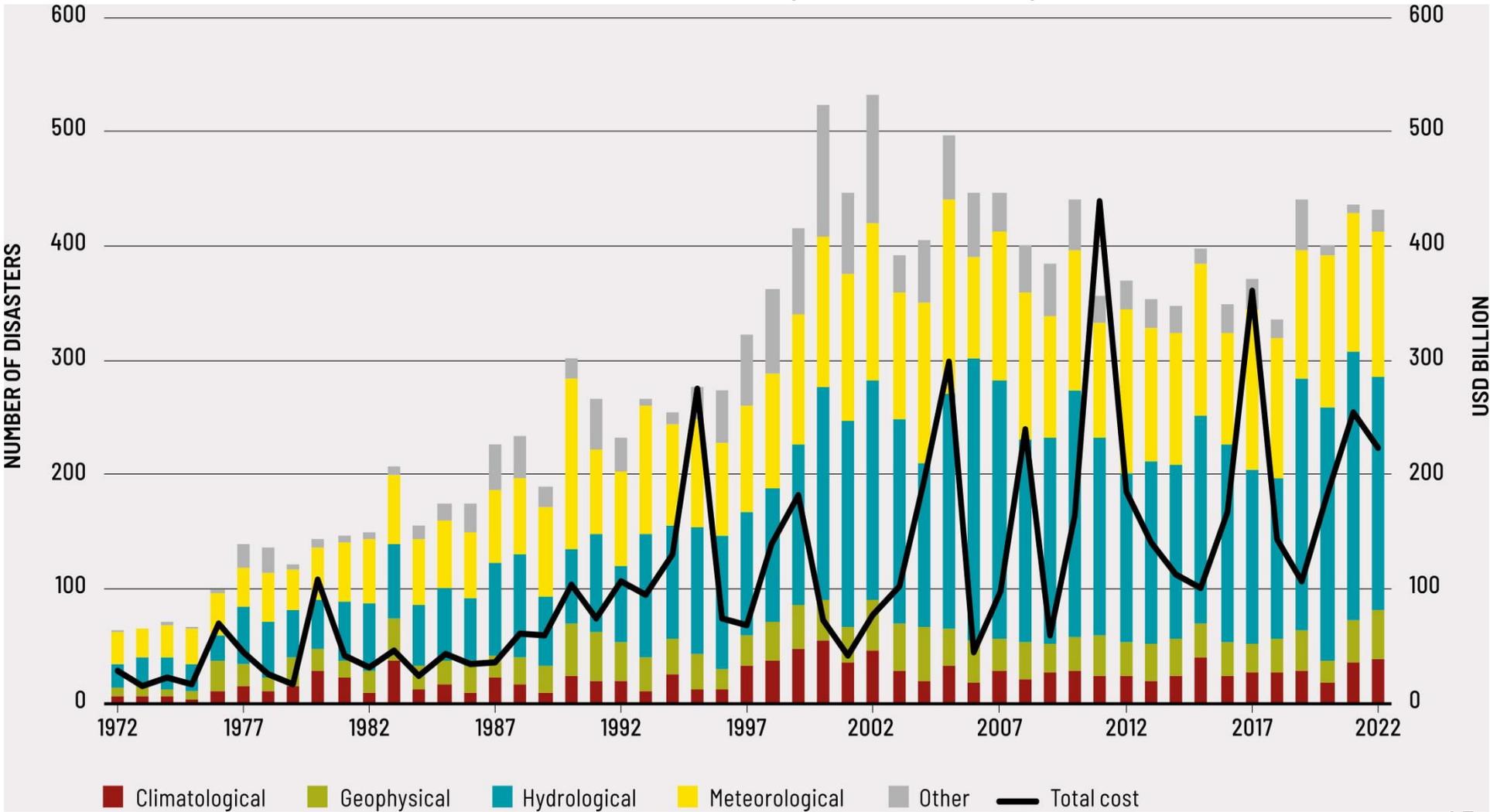
ハード・ソフトの両面からあらゆるステークホルダーの災害対応能力を向上させる

参考：過去の国連防災世界会議は、全て日本がホスト：1994年横浜、2005年神戸、2015年仙台。あわせて、国連事務総長特別代表（防災担当）兼、国連国際防災戦略事務局 UNDRRのポストも日本人が就任してきた。直近は印が就任。

背景①

増加する経済被害

NUMBER OF DISASTERS BY EM-DAT HAZARD GROUPING AND TOTAL ECONOMIC LOSSES (1972–2022)



Source: EM-DAT. 2023. EM-DAT Public. In: EM-DAT. Brussels. [Cited January 2023]. <https://public.emdat.be/>

背景②

2024年の世界経済損失イベント トップ10は自然災害 過去9年連続で年間3000億ドル超(約45兆円)の損失

Date	Event	Location	Deaths	Economic Loss (2024 \$B)	Insured Loss (2024 \$B)
09/25 - 09/28	Hurricane Helene	U.S., Mexico, Cuba	243	75.0	17.5
10/08 - 10/11	Hurricane Milton	U.S., Mexico	35	35.0	20.0
01/01	Noto Earthquake	Japan	489	18.0	1.0
10/27 - 10/30	Valencia Floods	Spain	231	16.1	3.9
06/09 - 07/14	South, Central China Floods	China	470	15.7	0.4
09/01 - 09/09	Typhoon Yagi	China, Southeast Asia	816	12.9	0.7
07/01 - 07/11	Hurricane Beryl	U.S., Caribbean, Canada	70	7.7	3.7
09/12 - 09/16	Central Europe Floods	Central Europe	29	7.5	2.1
01/01 - 12/31	Drought	United States	N/A	7.1	3.5
05/06 - 05/10	Severe Convective Storm	United States	6	6.6	5.2
All Other Events			~15,700	166.4	87.0
Totals			~18,100	368	145

(出所:エーオン)

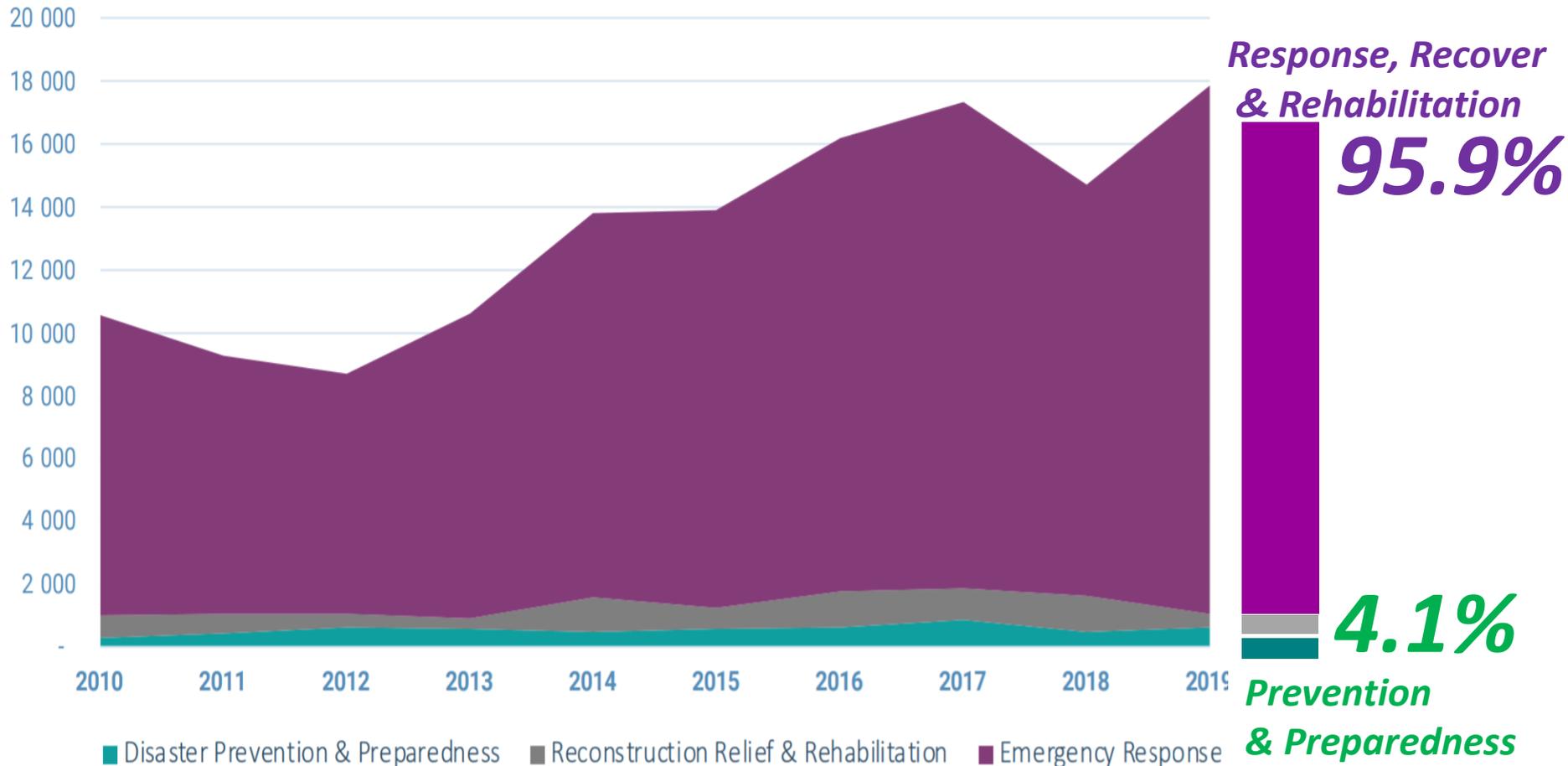
※24年は産業革命前比1.55℃を到達した年

背景③ **！最重要資料**

リスクファイナンス市場の変革を

罹災後の“ロス&ダメージ”コントロールが主(保険・財政)

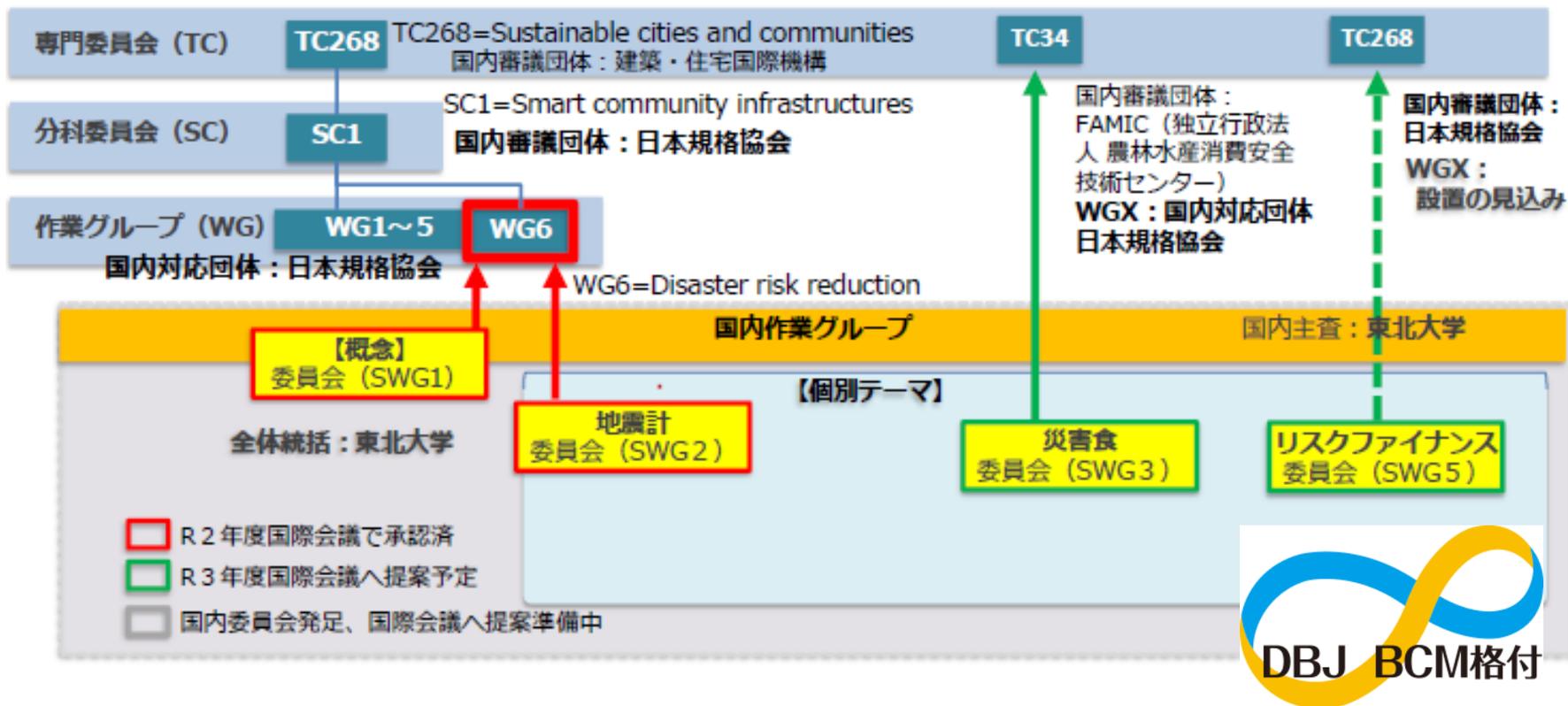
Amount of ODA Financed Disaster Risk Financing (2010-2020)



Reference ● UNDRR (2021) International Cooperation in Disaster Risk Reduction

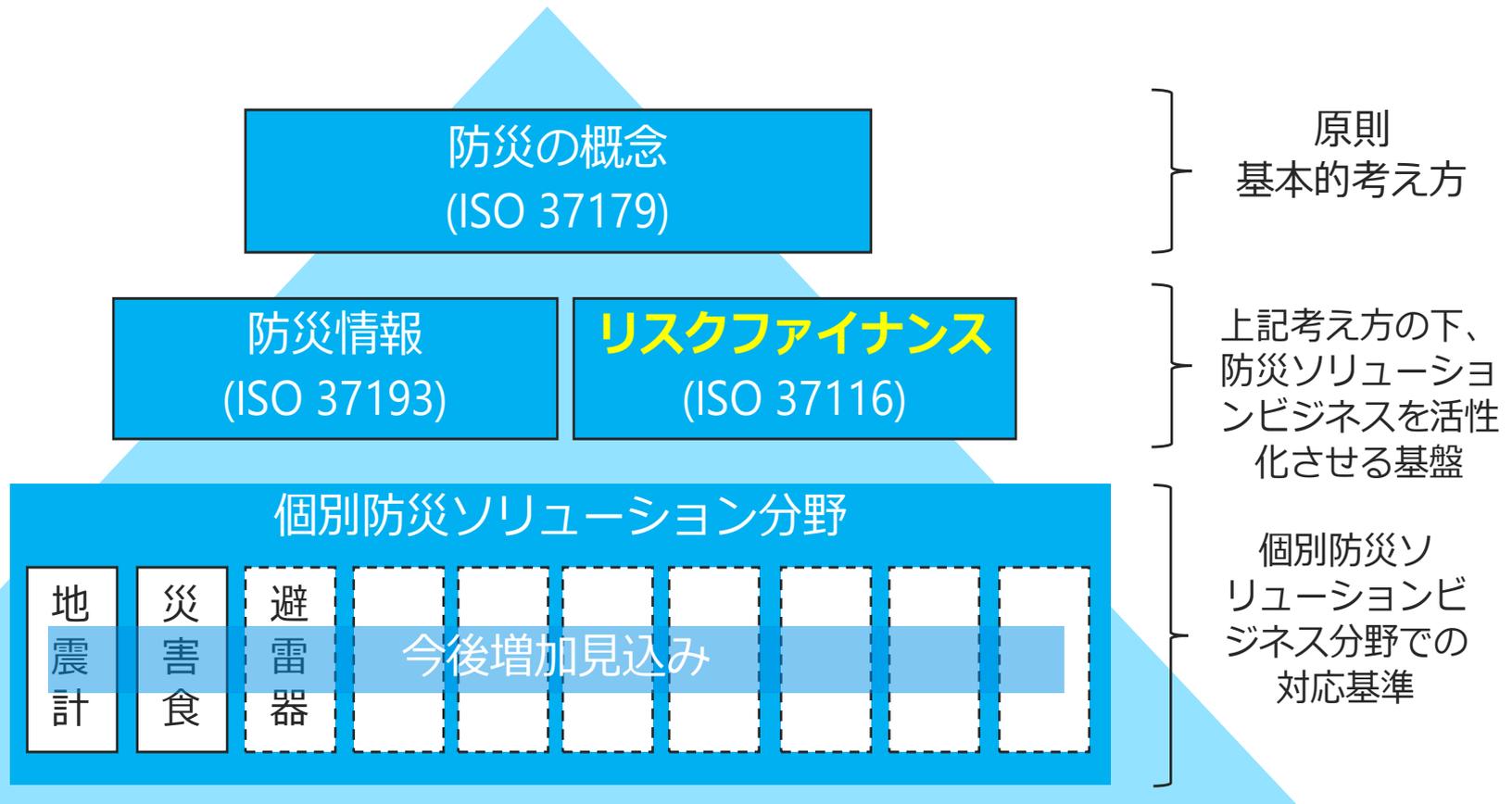
「仙台防災枠組2015-2030」を生かす 防災に係る国際標準の推進体制 2020年～

防災に係る国際標準の推進体制



- ISOにおける**スマートシティ専門部会**を活用
- 国内委員会を組織し、各分科会での活動を開始
- **DBJ、JERIは、リスクファイナンスWGを担当し、2021年より活動開始**

「仙台防災枠組2015-2030」を生かす 防災に係る国際標準化活動の全体像



- 個別防災技術分野ではなく、「基本的考え方」、それに基づく「基盤」（情報＋ファイナンス）、各防災分野という構造を、**トータルで戦略化**する。
- とくに、日本が主導した防災概念の国際規格が謳う「**事前防災投資**」の価値観、基本的考え方のもと、**日本の防災ソリューションの需要拡大を後押し**する。

リスクファイナンスISOのイメージ

「事前投資」に係る日本の防災・レジリエンス・ソリューションを世界へ

防災・気候変動適応・経済安全保障分野など レジリエンス領域

×

組織(国・自治体、民間等)やプロジェクトに対する **災害リスク低減事前投資**



日本政府と共に 関連する政府施策

◆ 経済産業省・日本規格協会（令和6年度～令和8年度）

国際ルール形成・市場創造型標準化推進事業費戦略的国際標準化加速事業
産業基盤分野に係る国際標準開発活動
都市システム・社会・組織の災害レジリエンスを高めるリスクファイナンスに関する標準化活動

◆ 内閣府（令和6年度）

研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）
令和6年度産業経済研究委託事業
防災・社会レジリエンス分野の産業創造のためのリスクファイナンス市場創造調査

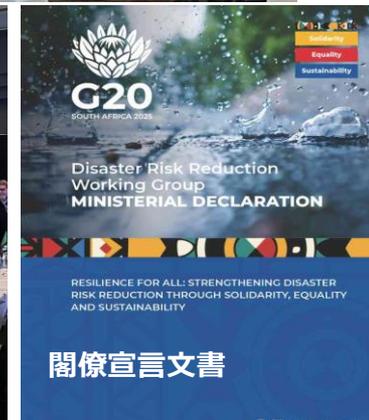
◆ 内閣府知的財産戦略本部（2025年6月3日公表）

新たな国際標準戦略（国際社会の課題解決に向けた我が国の標準戦略）



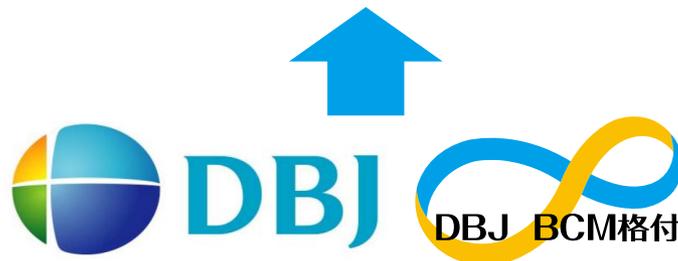
G20 2025年南アフリカ

—“Ex ante Investment”が首脳宣言、閣僚宣言に入る

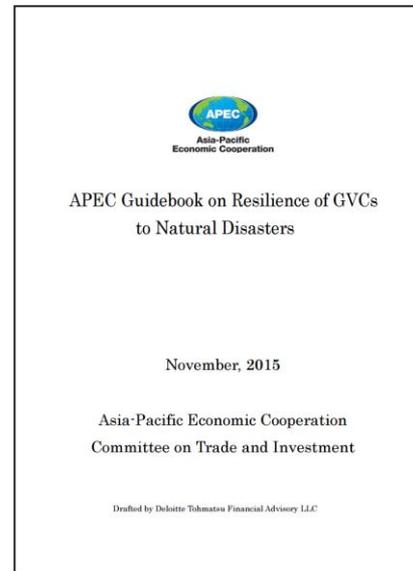
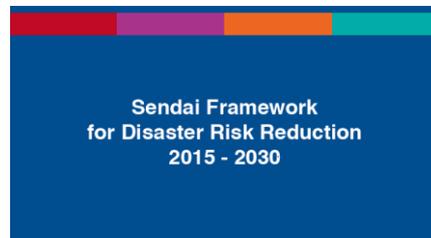
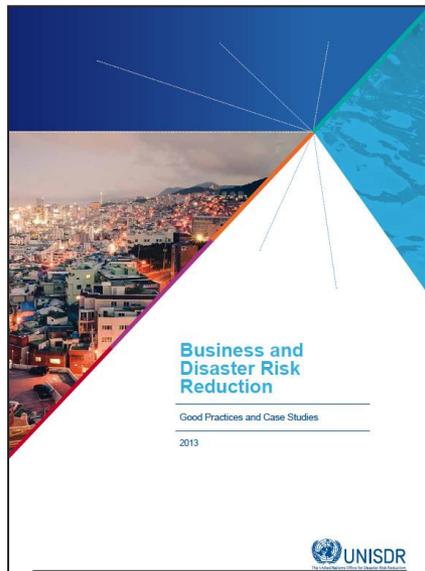


フィリピン国へのノウハウ提供（2015） _JICA + 四国電力との共同事業

Building national resilience of the Philippines with JICA
 【Project 2015-】
 Data collection survey on the incentive mechanism for
 improving disaster resiliency of the electric power distribution network



国際ルール形成と社会実装に必要な共創基盤の構築へ _G20、ダボス会議、国連、世銀、APEC、ADFIAPなど



**国連世界防災会議(2015)
サイドイベント
「レジリエントな社会を実現する
金融イニシアティブ」
DBJ・七十七銀行共同カンファレンス
(橋本社長(当時))**

**リスクファイナンス・事前投資に関する
国際普及啓発活動
(講演、WG参加、調査受託など)**

(レポート等の出所)
NUISDR(2013)、APEC(2015)、世界防災フォーラム(2017)

本日の発表 2点です

① 防災の産業化とイノベーション

- ◆ 防災分野の温故創新と“新旧”をつなぐ
- ◆ “財政と金融”をつなぐ
- ◆ “防災と産業”をつなぐ

② 国際ルール形成への挑戦

- ◆ 日本発「防災×金融」の国際標準への挑戦
- ◆ 災害、危機対応の経験を世界と共有する
- ◆ 世界のレジリエンス社会に貢献する日本



Development Bank of Japan Inc.

Applying Financial Expertise
to Design the Future

**ありがとうございました。
皆様とのお縁に感謝いたします。**

株式会社日本政策投資銀行
蛭間 芳樹